

県育成いちご新品種

「にこにこベリー」が本格デビュー！

農業・園芸総合研究所で育成した新品種「にこにこベリー」が、本年度から県内各圏域で栽培が開始され、本格デビューします。

本年度の作付面積は4.8ヘクタール、令和2年度は10ヘクタールの作付けを予定しており、「東北のいちご王国」宮城のニューフェイスとして期待されます。

【「にこにこベリー」の特徴】

- 果実がきれいな円錐形
- 果実表面もカット面も美しい赤色
- 甘みと酸味のバランスが良い
- 日持ちが良く、輸送性に優れる
～高級スイーツ向け～



「にこにこベリー」の作付面積

年度	H30	R1	R2	R3
作付面積	1.5ha	4.8ha	10ha(目標)	20ha(目標)

1 「にこにこベリー」デビューイベント

実需者や流通関係者、一般消費者などを招待し、「にこにこベリー」の魅力を十分に感じていただくデビューイベントを開催します。

- 日 時 令和元年11月22日(金) 午後3時から4時まで
- 場 所 ウェスティンホテル仙台
- 参集者 実需者、流通関係者、一般消費者等90名
- 内 容 ・挨拶(知事、全農宮城県本部長)
・知事から東京2020パラリンピック(バドミントン)候補選手への「にこにこベリー」贈呈・フォトセッション
・果実・スイーツの試食、「にこにこベリー」の紹介等



2 その他の開催イベント

- ・11月23日にアイベックスエアラインズ「にこにこベリーフライト」で試食を提供。
- ・北海道で、12月6日に実需者向け試食会、来年1月23日に一般消費者向けお披露目会を開催予定。
- ・来年2～3月にスイーツフェアなどを開催予定(県内及び北海道)。



(参考) 本県のいちごは、亶理町や山元町を中心に栽培され、作付面積は124ヘクタール、出荷量は4,100トン(全国10位)[平成30年産]で、東北一の生産地。